

【日時】 2023年11月25日（土） 13：00～16：00

【場所】 いしかわエコハウス（2階会議室）金沢市鞍月2丁目1番地

ここでは、今年度中に本カードゲーム「2050カーボンニュートラル」を開催の意向がある方を無料で開催する研修会のご連絡です。

## このようなお悩みを持つ組織におすすめです。

### <企業の悩み>

- カーボンニュートラル経営にシフトしないと、顧客離れや投資引上げのリスクがある
- カーボンニュートラルを事業機会と捉え直したい。
- 社長からカーボンニュートラルに向けた企画検討を指示された。まずは社内での理念浸透からか。

### <自治体の悩み>

- 首長がカーボンニュートラル宣言をしたが、何をやったらよいのか？
- カーボンニュートラルの理念を全庁的に浸透させる方法が無く困っている。
- 地域に向けてカーボンニュートラルを呼びかける際に、講義型だと人が集まらない。。

## 実施事例と受講者の声



### カーボンニュートラルは「事業機会」か「リスク対応」か。メンバーの意識の差を解消へ

組織属性：電機メーカーA社  
従業員数：4,000人（単独）  
受講者：環境部門部員 30名  
目的：環境部門の存在意義（バース）を共有し、環境ビジョン及び中期環境行動計画を「自分ごと化する」

**課題** 環境部門内において、カーボンニュートラルの捉え方が異なるため足並みが揃っていない状況

**解決策** 環境部門のメンバー全員（約30名）が体験  
環境部門のバースの共有と環境ビジョン及び中期環境行動計画の「自分ごと化」

**効果** 研修受講者の研修満足度が高い評価（大変満足：72%、やや満足：28%）。  
研修受講者アンケートから、環境部門のバースが参加者に理解され、環境ビジョン及び中期環境行動計画を「自分ごと化」する機会になったと評価できる。  
「他の部門や経営陣にも体験して欲しい」「ステークホルダー全体で学ぶ機会を作りたい」といった声があり、環境部門の意識醸成は終了し、次のステップへと課題感が移行した。  
副次的な効果として、これまで部内での交流頻度が少ないスタッフ同士での関係性が深まった。

※ 本事例の詳細は、こちらよりご確認ください。  
[https://www.projectdesign.co.jp/2050-carbon-neutral/report\\_2050cn\\_a\\_230209/](https://www.projectdesign.co.jp/2050-carbon-neutral/report_2050cn_a_230209/)

※事前にお打ち合わせを行い、プログラムを設計します

14:00	導入	チェックイン、導入意義 自己紹介、研修の目的共有、 講義：カーボンニュートラルとは
14:30	ゲーム体験	ルール説明 約25分 ゲーム実施 結果発表
15:50	ワーク	対話：ゲームにおいて意識したモノは？ 講義：カーボンニュートラルに向けての考え方 対話：ゲーム体験と結果の振り返り （もう一度ゲームをするとしたら？） （全員がゴール達成するためには？）
16:00		講義：事業戦略策定プロセスと理念浸透 講義：バース・ビジョン・計画の共有 （部長より） 対話：チーム内でアクションを共有
17:30		

その他の実施事例を含む資料はこちらからお取り寄せいただけます。

<https://www.projectdesign.co.jp/download/>



ご相談やご質問は、環境カウンセラーズ石川までお問い合わせください。

E-mail：kankyokwsishikawa@gmail.com

発行：090-3293-4320（ファシリテーター：橋本）